

# 「いのち・すまい・まちを守るために」

## — 東日本大震災から教えられたこと —

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から半年が過ぎました。被災地では今も復興に向けての懸命な努力が続けられています。この大震災から、わたしたちは何を気づき、取り組むことができるのでしょうか。

今年中市大中之島講座では、現地において復興への取り組みを続けられている岩手県立大学狩野徹教授による基調講演、その後、まちづくりや住まいに関わるパネリストをお招きし、「都市における防災・減災のあり方」について様々な観点から話し合います。

この講座が市民の方とともに震災への取り組みを考える場となることを切に願ひ、多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成23年 **9月12日**(月) 18:00～20:00 (受付開始: 17:30)

会場 **大阪市中央公会堂 3階 中集会室**

### プログラム

来賓挨拶 平松 邦夫 大阪市長

趣旨提言 西澤 良記 大阪市立大学長

### 第1部 基調講演

#### 講師・パネリスト

**狩野 徹** 岩手県立大学社会福祉学部教授  
岩手県において、高齢者介護施設の提案やユニバーサルデザインの普及に取り組んでいる。  
今回の東日本大震災では、被災した現地へ入り込み、福祉と住民の立場から仮設住宅や仮設のまちづくりなどを提案している。

#### 「復興への課題

#### — 生活を守るまちづくりへ —

大震災が発生して半年が経過、復興への課題が具体化する中、生活を守るまちづくりに向けて、大学が果たす役割にも触れながら、取り組みのあり方を述べます。

### 第2部 パネルディスカッション

#### パネリスト (五十音順)

**石川 永子**  
阪神・淡路大震災記念  
「人と防災未来センター」  
主任研究員

**北山 啓三**  
大阪市副市長

**森 一彦**  
大阪市立大学「都市防  
災研究」代表者／生活  
科学研究科教授

#### コーディネーター

**宮野 道雄**  
大阪市立大学副学長  
これまで、阪神・淡路大震災における被災者  
調査を実施。東日本大震災では岩手県、宮城  
県の被災地現地調査を地震発生直後に実施。  
災害時の被災者の実情や問題点に精通。

\* 講座開催にあわせ、岩手県釜石市で行った本学学生によるボランティア等の写真パネルを展示します。

# 平成23年9月12日(月) 市大中之島講座 募集要領

## お申込み方法

**定員** 300名「先着順」 \* 定員を超えた場合はホームページでお知らせします。

**締切** 平成23年9月8日(木)

ハガキまたは大学ホームページから  
お申込みください。

電話・FAX では受け付けておりません。

**受講料無料**  
どなたでも参加できます。

往復ハガキ

(ハガキ1枚につき1名のお申込みとなります)

必要事項 ① 住所(郵便番号) ② 氏名(ふりがな) ③ 電話番号 ④ 年齢を記入  
返信用に申込者の住所を記入

あて先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学 学務企画課「市大中之島講座」係

本学HP

<http://www.osaka-cu.ac.jp/>  
「市大中之島講座」申込専用フォームからお申込みください。

受講申込をされた方には「受講票(又は受講許可メール)」を送付いたします。

## 会場アクセス

大阪市中央公会堂 3階 中集会室 大阪市北区中之島1-1-27

- 地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車(1)番出口から徒歩約5分
- 地下鉄堺筋線/京阪電鉄「北浜」駅下車(22)号出口から徒歩約6分
- 京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車(1)番出口から徒歩約1分

\* 公共交通機関をご利用ください。



## お問い合わせ

大阪市立大学 学務企画課 ☎06-6605-3504 FAX 06-6605-3505

(平日 月~金 9:00~17:00)